

報告 6 支援連携

はじめに

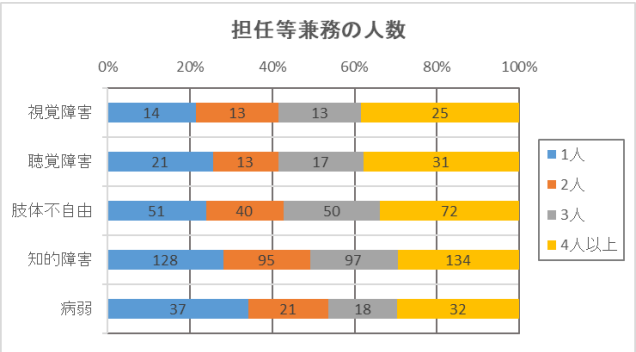
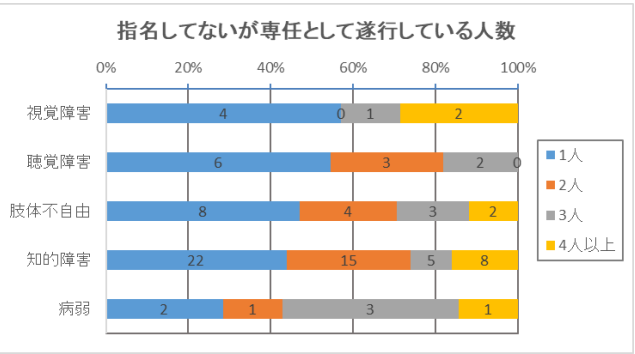
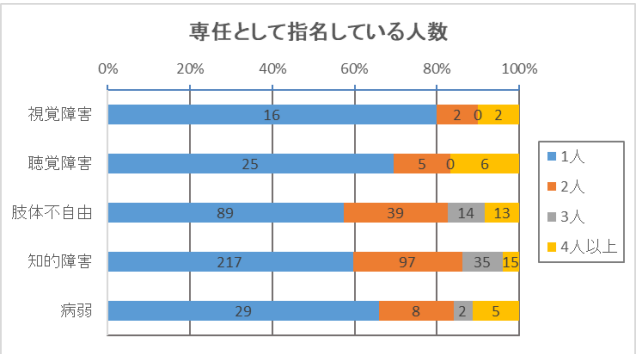
【89】特別支援教育コーディネーターの数について、校長が専任として指名している人数、指名してはいないが専任として業務を遂行している人数、担任等兼務の人数をそれぞれお答えください。

	専任として指名している人数				指名していないが専任として遂行している人数				担任等兼務の人数			
	1人	2人	3人	4人以上	1人	2人	3人	4人以上	1人	2人	3人	4人以上
合計	302	115	38	26	34	19	11	12	206	154	145	207
%	(62.8)	(23.9)	(7.9)	(5.4)	(44.7)	(25)	(14.5)	(15.8)	(28.9)	(21.6)	(20.4)	(29.1)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	16	2	0	2	4	0	1	2	14	13	13	25
%	(80)	(10)	(0)	(10)	(57.1)	(0)	(14.3)	(28.6)	(21.5)	(20)	(20)	(38.5)
聴覚障害	25	5	0	6	6	3	2	0	21	13	17	31
%	(69.4)	(13.9)	(0)	(16.7)	(54.5)	(27.3)	(18.2)	(0)	(25.6)	(15.9)	(20.7)	(37.8)
肢体不自由	89	39	14	13	8	4	3	2	51	40	50	72
%	(57.4)	(25.2)	(9)	(8.4)	(47.1)	(23.5)	(17.6)	(11.8)	(23.9)	(18.8)	(23.5)	(33.8)
知的障害	217	97	35	15	22	15	5	8	128	95	97	134
%	(59.6)	(26.6)	(9.6)	(4.1)	(44)	(30)	(10)	(16)	(28.2)	(20.9)	(21.4)	(29.5)
病弱	29	8	2	5	2	1	3	1	37	21	18	32
%	(65.9)	(18.2)	(4.5)	(11.4)	(28.6)	(14.3)	(42.9)	(14.3)	(34.3)	(19.4)	(16.7)	(29.6)
合計	376	151	51	41	42	23	14	13	251	182	195	294
%	(23.0)	(9.2)	(3.1)	(2.5)	(2.6)	(1.4)	(0.9)	(0.8)	(15.4)	(11.1)	(11.9)	(18.0)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



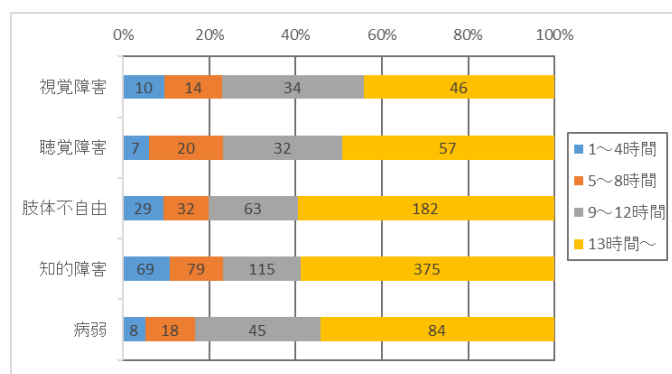
【90】 兼務特別支援教育コーディネーターの持ち時数についてお答えください。《複数選択》

	1～4時間				5～8時間				9～12時間				13時間～			
	1人	2人	3人	4人以上	1人	2人	3人	4人以上	1人	2人	3人	4人以上	1人	2人	3人	4人以上
合計	59	17	8	7	87	19	10	7	127	41	23	9	206	117	110	147
%	(64.8)	(18.7)	(8.8)	(7.7)	(70.7)	(15.4)	(8.1)	(5.7)	(63.5)	(20.5)	(11.5)	(4.5)	(35.5)	(20.2)	(19)	(25.3)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	7	1	0	2	11	2	1	0	23	6	3	2	14	9	7	16
%	(70)	(10)	(0)	(20)	(78.6)	(14.3)	(7.1)	(0)	(67.6)	(17.6)	(8.8)	(5.9)	(30.4)	(19.6)	(15.2)	(34.8)
聴覚障害	6	0	0	1	12	5	2	1	16	6	5	5	20	9	9	19
%	(85.7)	(0)	(0)	(14.3)	(60)	(25)	(10)	(5)	(50)	(18.8)	(15.6)	(15.6)	(35.1)	(15.8)	(15.8)	(33.3)
肢体不自由	18	6	2	3	23	5	3	1	39	15	7	2	53	43	32	54
%	(62.1)	(20.7)	(6.9)	(10.3)	(71.9)	(15.6)	(9.4)	(3.1)	(61.9)	(23.8)	(11.1)	(3.2)	(29.1)	(23.6)	(17.6)	(29.7)
知的障害	45	11	8	5	53	12	9	5	76	21	12	6	142	68	71	94
%	(65.2)	(15.9)	(11.6)	(7.2)	(67.1)	(15.2)	(11.4)	(6.3)	(66.1)	(18.3)	(10.4)	(5.2)	(37.9)	(18.1)	(18.9)	(25.1)
病弱	3	4	0	1	14	2	2	0	26	11	6	2	35	18	9	22
%	(37.5)	(50)	(0)	(12.5)	(77.8)	(11.1)	(11.1)	(0)	(57.8)	(24.4)	(13.3)	(4.4)	(41.7)	(21.4)	(10.7)	(26.2)
合計	79	22	10	12	113	26	17	7	180	59	33	17	264	147	128	205
%	(6.0)	(1.7)	(0.8)	(0.9)	(8.6)	(2.0)	(1.3)	(0.5)	(13.6)	(4.5)	(2.5)	(1.3)	(20.0)	(11.1)	(9.7)	(15.5)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



【91】 特別支援教育コーディネーターの支援範囲についてお答えください。《単一選択》

	校内のみ限定	校外のみ限定	校内外に限定	校内外及び指定した関係機関を含めて支援	指定した関係機関に限定	その他
合計	36	38	322	559	2	33
%	(3.6)	(3.8)	(32.5)	(56.5)	(0.2)	(3.3)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	1	5	17	48	0	5
%	(1.3)	(6.6)	(22.4)	(63.2)	(0)	(6.6)
聴覚障害	1	4	24	64	0	7
%	(1)	(4)	(24)	(64)	(0)	(7)
肢体不自由	8	17	93	164	1	10
%	(2.7)	(5.8)	(31.7)	(56)	(0.3)	(3.4)
知的障害	23	25	227	368	0	19
%	(3.5)	(3.8)	(34.3)	(55.6)	(0)	(2.9)
病弱	8	4	42	76	1	7
%	(5.8)	(2.9)	(30.4)	(55.1)	(0.7)	(5.1)
合計	41	55	403	720	2	48
%	(3.2)	(4.3)	(31.8)	(56.7)	(0.2)	(3.8)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■ その他内容

パートナーティチャー等の支援／校内及び県内の幼保小中高等学校／あらゆる相談に応じる／状況に応じて対応するようにしている／校内外及び依頼のあった関係機関／巡回相談、研修会の講師／学校のある地域はすべて支援範囲としている。／校内外に限定／依頼があれば相手先に関係なく可能な限り支援している。／校内校外問わず要請があれば支援する／校内外と地域の関係機関／校内外支援と通級による指導／必要に応じて／特別支援教育コーディネーターを置いていない／校内と校外（依頼があり校長が認めた関係機関／校内外及び指定された機関以外にも依頼があれば支援している／横浜市西部ブロックを中心とした学校周辺／稲荷山養護学校本校のみで指名／特に限定はしていない。／校内外と要望のあるすべての機関。／聴覚障がい児に関する支援要請があった機関すべて／校内及び圏域の要請のあった幼小中高／地域のニーズに応じて判断して支援している／すべて／前籍校（小中学校）を中心に支援を実施／通学区域内、知的遅れのない発達障害は対象外／校外を支援する者3名、校内を支援する者3名／支援範囲の限定はない／限定していない／校外からの相談者、関係機関への対応／現状は校外支援だけであるが、校外に限定しているわけではない。／校外及び指定した関係機関を含めて支援／県全域／校内外及び児童生徒の支援に関わる関係機関

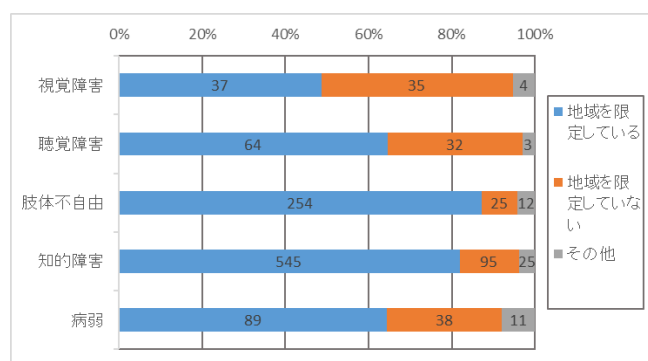
【92】支援のための地域エリアについてお答えください。《単一選択》

	地域を限定 している	地域を限定 していない	その他
合計	741	207	39
%	(75.1)	(21)	(4)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	37	35	4
%	(48.7)	(46.1)	(5.3)
聴覚障害	64	32	3
%	(64.6)	(32.3)	(3)
肢体不自由	254	25	12
%	(87.3)	(8.6)	(4.1)
知的障害	545	95	25
%	(82)	(14.3)	(3.8)
病弱	89	38	11
%	(64.5)	(27.5)	(8)
合計	989	225	55
%	(77.9)	(17.7)	(4.3)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■その他内容

根室管内／校内／おおよその目安はある／校区内／限定していないが、概ね県北地域／市内／学区内／担当地域はあるものの、必要に応じて担当外の相談にも対応。／地域を限定している／肢体不自由部門は地域限定、病弱部門は地域を限定していない。／通学区を基本とするが、通学区外からの要請がある場合は対応／基本的には、ある程度限定されているが、他校と重なる地域もある。／内容により地域を限定している／そもそもこの概念がない／児童・生徒の通学区域／要望があれば、他都市の相談も可／横須賀市 逗子市 三浦市 葉山町／地域をある程度限定している。他の支援機関と重なりそうな地域は、その都度確認をとっている／横浜市内／地域を限定していないが、およそ地域への支援である。／県内としているが県外からも依頼・申込があれば受けている／基本的には地域を限定している（学区）が、隣接している医療機関に加療中のものを入れると県下全域／県立支援学校が地域割りで担当しているので、大学附属校は、担当する地域がない。本校への入学相談にかかわる相談に対応している。／基本的に県教委で支援地域の限定があるが、相談内容により、地域限定を越える場合がある。／通学区域／決められたエリアはあるが、必要に応じて／設置郡が中心だが特に限定していない。／市立のため支援員は別に配置されている／県内全域／全県下だが、

病院に入院した児童生徒の前籍校等に限定／地域は限定しているが、場合によっては地域外もある。／入所、入院の児童生徒のみ／京都府内全域／県内外の通学可能な圏域／県が定める支援地域を中心に活動。地域外の支援に携わることもある。／佐賀大学教育学部附属学校園内のみ／校内のみ／基本的に県内だが、来校による教育相談に対応するケースがある。／はっきりと地区割りをしているわけではない。／市内の特別支援学校でエリアを指定している。／指導教諭については地域を限定していない。／指定されたエリアと県域の病弱教育支援／学校区内

多くの学校が基本的にはエリア指定があるものの、要請によってケースバイケースで対応する、という回答であった。

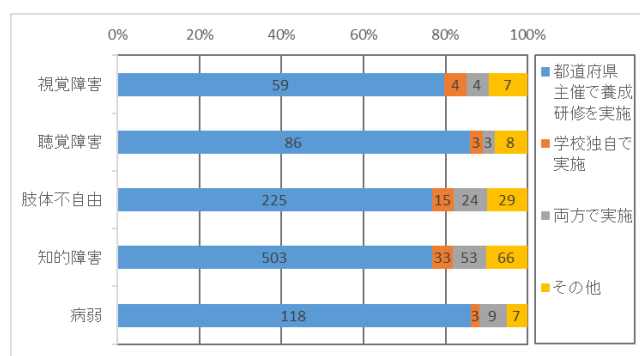
【93】 特別支援教育コーディネーター養成のための研修会を実施していますか。《単一選択》

	都道府県主催で養成研修を実施	学校独自で実施	両方で実施	その他
合計	766	43	76	90
%	(78.6)	(4.4)	(7.8)	(9.2)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	59	4	4	7
%	(79.7)	(5.4)	(5.4)	(9.5)
聴覚障害	86	3	3	8
%	(86)	(3)	(3)	(8)
肢体不自由	225	15	24	29
%	(76.8)	(5.1)	(8.2)	(9.9)
知的障害	503	33	53	66
%	(76.8)	(5)	(8.1)	(10.1)
病弱	118	3	9	7
%	(86.1)	(2.2)	(6.6)	(5.1)
合計	991	58	93	117
%	(78.7)	(4.6)	(7.4)	(9.3)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■ その他内容

実施していない／札幌市教育委員会主催の研修会を実施／養成のための研修会は実施していない／仙台市主催で養成研修を実施／太子町教育委員会主催の研修会に会場を提供し、活動に協力している。／特別支援教育コーディネーター専門研修を県が実施／都道府県主催で養成研修を実施／政令市主催／市主催で養成研修を実施／県特別支援教育コーディネーター研修／市で実施／都道府県、コーディネーター個人／研修会の実施は行っていない／横浜市教育委員会主催で養成研修を実施／県、市町で実施している／市教育委員会を実施／横浜市が実施／横浜市教育委員会主催で実施。／川崎市教育委員会／市教育委員会／連絡会議等への参加／市教委主催での研修会／横須賀市で実施／特に行っていない。OJT。／市内の研究団体／県が主催する研修に参加させていただいている／指名されたコーディネータに対する研修を県が実施／諏訪地区特別支援教育コーディネーター等連絡会／圏域で実施／コーディネーター養成と銘打った研修は行っていない／連絡会議を年3回実施している／複数の特別支援学校合同で研修を企画し実施／市教育委員会からの依頼で実施／市や県主催で実施／「地域支援に関する研修」（観察の視点、助言内容の教授）／教育相談に同席して現状から学ぶ。／コーディネーター養成のための研修会は実施していない／市教委で実施／以前は、県教育委

員会主催で養成研修を実施していた／校区内 特別支援教育コーディネーター連絡協議会／県外研修に参加／
コーディネータ養成研修ではないが、教育相談全般の研修派遣を県が実施している。／市立のため市教委と
の共催での研修講座／校内で研修を実施している。／研修会は実施していない。業務を行いながら仕事内容
を引き継いでいる。／市教委での講座／本市教育委員会主催で研修会を実施／県・市で実施／佐賀大学教育
学部附属学校園内のみ／市教育委員会及び教育事務所独自で実施

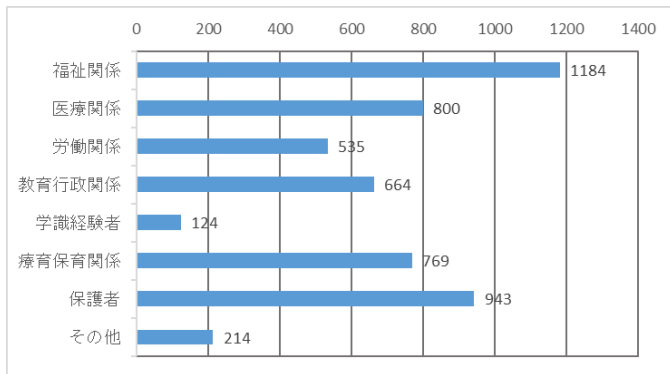
【94】学校主催（校内）の支援（ケース）会議の構成メンバーについて、お答えください。《複数選択可》

	福祉関係	医療関係	労働関係	教育行政関係	学識経験者	療育保育関係	保護者	その他
合計	901	583	391	492	86	561	717	173
%	(91)	(58.9)	(39.5)	(49.7)	(8.7)	(56.7)	(72.4)	(17.5)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	65	46	29	34	9	48	55	17
%	(91.5)	(64.8)	(40.8)	(47.9)	(12.7)	(67.6)	(77.5)	(23.9)
聴覚障害	78	46	35	40	15	44	53	19
%	(83)	(48.9)	(37.2)	(42.6)	(16)	(46.8)	(56.4)	(20.2)
肢体不自由	280	219	122	151	25	194	223	36
%	(94.9)	(74.2)	(41.4)	(51.2)	(8.5)	(65.8)	(75.6)	(12.2)
知的障害	636	363	308	354	63	393	509	120
%	(94.2)	(53.8)	(45.6)	(52.4)	(9.3)	(58.2)	(75.4)	(17.8)
病弱	125	126	41	85	12	90	103	22
%	(86.2)	(86.9)	(28.3)	(58.6)	(8.3)	(62.1)	(71)	(15.2)
合計	1184	800	535	664	124	769	943	214
%	(22.6)	(15.3)	(10.2)	(12.7)	(2.4)	(14.7)	(18.0)	(4.1)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■その他内容

校内の職員のみ／相談支援事業者／放課後等デイサービス事業所、市役所福祉課職員／必要に応じて出席者変更／その都度、関係ある機関と連携／北海道SSW／ケースの課題やニーズに対応するメンバー／学校教員のみ／校内で実施／生徒指導関係の支援会議／必要に応じてその都度／必要に応じてメンバーを決める／生徒本人／市町村／区長、民生委員、分教室のある中学校職員等／必要に応じてその他の支援機関／SSW，SC／必要に応じて構成メンバーが替わる／担任、学部主事、進路指導主事、寄宿舎生については担当指導員／課題に応じた関係者／教頭、学年主任、進路指導主事、養護教諭、担任等の教員／寄宿舎指導員、養護教諭／保健師、児童相談所職員、放課後等デイサービス職員／必要のある場合に実施し内容に応じて人選。／校内のみの場合と関係機関と連携する場合とあり／担任、管理職／構成メンバーはケースにより異なる。／児童相談所、警察／管理職、コーディネーター、生徒指導部長、担任、養護教諭等／支援対象の学校の担任等／構成メンバーは規定していない。目的に応じて柔軟にメンバーを選定している。／行政機関、児童相談所、兄弟の小中学校／状況によりその都度関係機関を選択／市町村関係／臨床心理士等を県がスーパーバイザーとして派遣／本校職員／教職員のみ／前籍校教職員／その支援に必要な方すべてに声を掛ける。／福祉行政関係 児相／学校教員（担任、学部教員）／県スクールソーシャルワーカー／福祉関係の相談員

に依頼して開催。／上記関係機関から支援会議の主訴に応じて、依頼を行い、実施している。／地域の自治体関係者／外部機関を含む会議を要しなかったため、校内教職員のみで実施／本人・担任・コーディネーター・自立活動担当／提携施設職員／放課後等デイサービス事業所／支援機関（放課後等デイサービス等）／担任、学年主任、主幹、管理職／上記の方々を必要に応じて依頼している／特別支援学校の専門職、スクールソーシャルワーカー／障害福祉行政関係／校内の関係職員／スクールソーシャルワーカー、警察／ケースの内容に応じて人選している。／教員、コーディネーター、看護師、管理職／訪問看護など家庭支援機関・相談支援事業所／転籍に関わる小中学校関係／ケースに応じて構成メンバーを検討している。／児童相談所、入所施設担当者／上記の構成メンバーからケースの課題により選択して依頼／校内の教育支援会議は、校内の職員のみ／校内職員のみで構成／福祉事業所／福祉行政関係／本人（可能な場合）／内容等に応じて本人／ケースによって構成メンバーを変更／福祉サービス／場合に応じてその都度異なる／社会福祉協議会／校内のケース会議への外部からの構成メンバーは固定しておらず、必要であれば参加要請をする／隣接の施設職員、児童相談所担当者／手をつなぐ育成会／関係する教職員／スクールサポーター／原籍校／学校主催では実施していない。／校長・教頭・部主事、教務主任、進路指導主事、関係職員／ケースに寄っては、前籍校の教員や福祉・労働関係等も参加。／前籍校／併設する病院が開催する関係者会議等に参加／警察、少年センター／学校関係（前籍校）／校内分掌担当者／ケースにより多様性がある。／放課後等デイサービス関係／基本は学部主事、コーディネーターが中心だがケースにより、医療関係者、教育行政関係者、福祉関係者が加わる。／ケースの内容による／相談支援事業所／警察署／臨床心理士、SSW等／法務少年支援センター／利用サービス事業所／進路先、その他必要に応じて／施設職員／内容によって参加メンバーは異なる／校内関係者のみ／ケースの内容により構成メンバーが異なる。／地域の基幹相談センター／教育相談担当／他の特別支援学校の専門教員／市町福祉課担当、保健師、主治医、デイサービス事業所、児童相談所／学校主催の支援会議としては開催していない／寄宿舍指導員／必要に応じて招集／市町村の福祉事務所等／警察関係／前籍校の関係者等、上記に関係者を状況に合わせてチョイスしている。／前籍校関係者／行政（家庭子ども相談課、児童相談所）／児相／少年サポートセンター／本校関係者／相談や支援内容によってメンバーが変わる／スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー／相談支援専門員／必要に応じて会議に参加するメンバーを依頼／校内の職員のみ 必要に応じて外部関係者を招聘する／デイサービス関係／計画相談員、中部圏域アドバイザー／・要保護児童対策地域協議会・療育施設／児童デイ

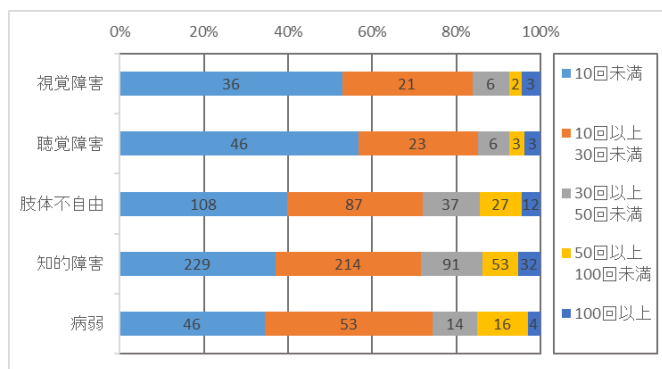
【95】上記の支援（ケース）会議を平成29年度は何回開催しましたか。

	10回未満	10回以上30回未満	30回以上50回未満	50回以上100回未満	100回以上
合計	383	293	112	69	38
%	(42.8)	(32.7)	(12.5)	(7.7)	(4.2)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	36	21	6	2	3
%	(52.9)	(30.9)	(8.8)	(2.9)	(4.4)
聴覚障害	46	23	6	3	3
%	(56.8)	(28.4)	(7.4)	(3.7)	(3.7)
肢体不自由	108	87	37	27	12
%	(39.9)	(32.1)	(13.7)	(10)	(4.4)
知的障害	229	214	91	53	32
%	(37)	(34.6)	(14.7)	(8.6)	(5.2)
病弱	46	53	14	16	4
%	(34.6)	(39.8)	(10.5)	(12)	(3)
合計	465	398	154	101	54
%	(39.7)	(34.0)	(13.1)	(8.6)	(4.6)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



ここでも多かった回答は、ケースに応じてメンバーを集める、というものだった。

また、支援（ケース）会議の開催の割合は視覚障害、聴覚障害は低かった。

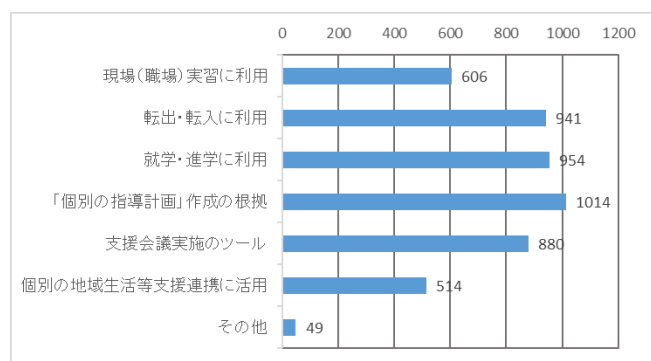
【96】「個別の教育支援計画」の活用について、どのように活用しているか、3つお答えください。

	現場(職場)実習に利用	転出・転入に利用	就学・進学に利用	「個別の指導計画」作成の根拠	支援会議実施のツール	個別の地域生活等支援連携に活用	その他
合計	472	712	734	783	680	392	38
%	(45.7)	(69)	(71.1)	(75.9)	(65.9)	(38)	(3.7)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	33	51	62	58	51	22	3
%	(42.9)	(66.2)	(80.5)	(75.3)	(66.2)	(28.6)	(3.9)
聴覚障害	33	73	79	80	63	33	4
%	(32.4)	(71.6)	(77.5)	(78.4)	(61.8)	(32.4)	(3.9)
肢体不自由	148	233	236	242	209	133	9
%	(48.2)	(75.9)	(76.9)	(78.8)	(68.1)	(43.3)	(2.9)
知的障害	345	463	470	523	458	287	28
%	(49.7)	(66.7)	(67.7)	(75.4)	(66)	(41.4)	(4)
病弱	47	121	107	111	99	39	5
%	(31.8)	(81.8)	(72.3)	(75)	(66.9)	(26.4)	(3.4)
合計	606	941	954	1014	880	514	49
%	(12.2)	(19.0)	(19.2)	(20.5)	(17.7)	(10.4)	(1.0)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■その他内容

【視覚障害】

放課後等デイサービス事業所との連携に活用

【聴覚障害】

居住地校交流や自力通学検討のための資料／日々の指導／保護者との懇談

【肢体不自由】

保護者面談／支援籍学習／日々の授業に活用。／卒業時に利用／放課後ディサービスなど地域の支援事業所／保護者との連携／スクールカウンセラー活用時／教育相談

【知的障害】

家庭との連携／個別の移行支援計画／就労先への引継ぎ、家庭保存等／保護者との福祉サービス等利用状況の確認／保護者との連携／居住地校交流（簡易版）／提携施設との連携資料として／外部専門員への配布資料／日々の授業に活用。／日々の授業に活用／卒業時に利用／放課後ディサービスなど地域の支援事業所／就労先との連携／保護者の利用／就労に移行する際の基礎資料／就職時に移行支援として活用／福祉サービス利用時に使用／スクールカウンセラー活用時／関係教職員の情報共有、個別の移行支援計画／関係機関との連携を図るための情報／教師間の情報共有／学部会での生徒の実態把握

【病弱】

学校卒業後の生活設計(継続入院生)／支援籍学習／原籍校への引き継ぎ

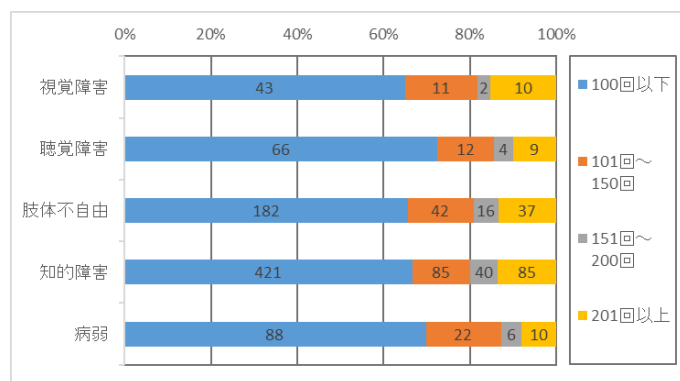
【97】平成29年度の特別支援教育コーディネーターの派遣回数をお答えください。《単一選択》

	100回以下	101回～ 150回	151回～ 200回	201回以上
合計	652	114	50	102
%	(71)	(12.4)	(5.4)	(11.1)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	43	11	2	10
%	(65.2)	(16.7)	(3)	(15.2)
聴覚障害	66	12	4	9
%	(72.5)	(13.2)	(4.4)	(9.9)
肢体不自由	182	42	16	37
%	(65.7)	(15.2)	(5.8)	(13.4)
知的障害	421	85	40	85
%	(66.7)	(13.5)	(6.3)	(13.5)
病弱	88	22	6	10
%	(69.8)	(17.5)	(4.8)	(7.9)
合計	800	172	68	151
%	(67.2)	(14.4)	(5.7)	(12.7)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



コーディネーターの派遣は種別が混在している。

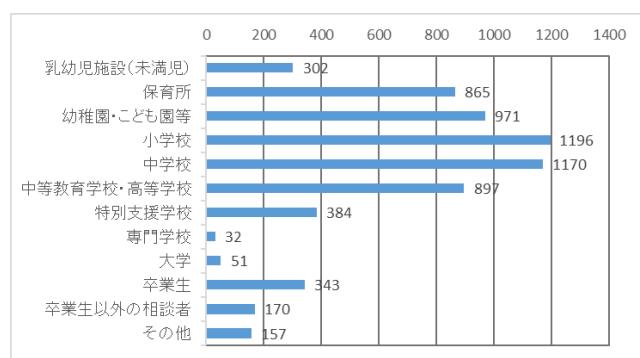
【98】あなたの学校の支援先はどこですか。《複数選択可》

	乳幼児施設 (未満児)	保育所	幼稚園・こども園等	小学校	中学校	中等教育学校・高等学校	特別支援学校	専門学校	大学	卒業生	卒業生以外の相談者	その他
合計	225	635	714	911	889	660	305	22	40	264	135	120
%	(22.5)	(63.4)	(71.3)	(91)	(88.8)	(65.9)	(30.5)	(2.2)	(4)	(26.4)	(13.5)	(12)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	42	65	71	76	76	60	57	9	15	38	39	11
%	(53.8)	(83.3)	(91)	(97.4)	(97.4)	(76.9)	(73.1)	(11.5)	(19.2)	(48.7)	(50)	(14.1)
聴覚障害	51	82	89	97	89	75	68	6	13	43	23	10
%	(50)	(80.4)	(87.3)	(95.1)	(87.3)	(73.5)	(66.7)	(5.9)	(12.7)	(42.2)	(22.5)	(9.8)
肢体不自由	74	204	237	289	276	199	91	6	9	74	30	42
%	(24.7)	(68.2)	(79.3)	(96.7)	(92.3)	(66.6)	(30.4)	(2)	(3)	(24.7)	(10)	(14)
知的障害	110	430	480	600	601	464	117	8	10	154	62	81
%	(16.3)	(63.9)	(71.3)	(89.2)	(89.3)	(68.9)	(17.4)	(1.2)	(1.5)	(22.9)	(9.2)	(12)
病弱	25	84	94	134	128	99	51	3	4	34	16	13
%	(17.6)	(59.2)	(66.2)	(94.4)	(90.1)	(69.7)	(35.9)	(2.1)	(2.8)	(23.9)	(11.3)	(9.2)
合計	302	865	971	1196	1170	897	384	32	51	343	170	157
%	(4.6)	(13.2)	(14.9)	(18.3)	(17.9)	(13.7)	(5.9)	(0.5)	(0.8)	(5.2)	(2.6)	(2.4)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



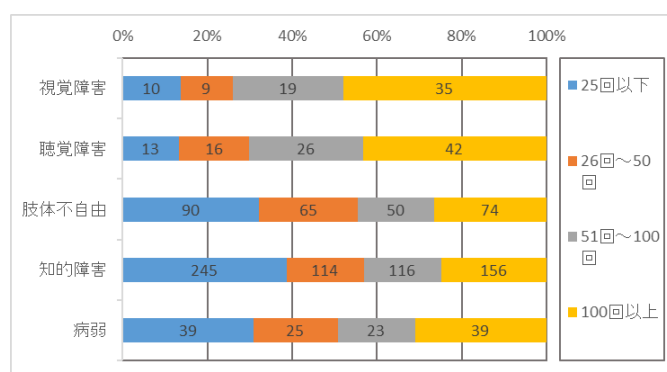
【99】平成29年度の特別支援教育コーディネーターの来校相談及び電話相談の回数をお答えください。《単一選択》

	25回以下	26回～50回	51回～100回	100回以上
合計	332	167	177	254
%	(35.7)	(18)	(19)	(27.3)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	10	9	19	35
%	(13.7)	(12.3)	(26)	(47.9)
聴覚障害	13	16	26	42
%	(13.4)	(16.5)	(26.8)	(43.3)
肢体不自由	90	65	50	74
%	(32.3)	(23.3)	(17.9)	(26.5)
知的障害	245	114	116	156
%	(38.8)	(18.1)	(18.4)	(24.7)
病弱	39	25	23	39
%	(31)	(19.8)	(18.3)	(31)
合計	397	229	234	346
%	(32.9)	(19.0)	(19.4)	(28.7)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



視覚、聴覚障害と相談回数が多いが、肢体不自由、知的障害は比較的少ないことが分かる。

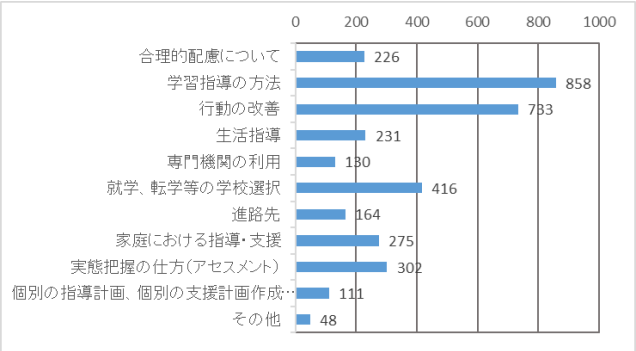
【100】平成 29 年度に特別支援教育コーディネーターが受けた相談内容の内、多かった内容を二つお答えください。《複数回答》

	合理的配慮について	学習指導の方法	行動の改善	生活指導	専門機関の利用	就学、転学等の学校選択	進路先	家庭における指導・支援	実態把握の仕方(アセスメント)	個別の指導計画、個別の支援計画作成の仕方	その他
合計	183	646	535	184	109	334	139	220	233	88	38
%	(18.7)	(66.1)	(54.8)	(18.8)	(11.2)	(34.2)	(14.2)	(22.5)	(23.8)	(9)	(3.9)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	18	66	21	15	6	15	7	16	23	3	3
%	(24)	(88)	(28)	(20)	(8)	(20)	(9.3)	(21.3)	(30.7)	(4)	(4)
聴覚障害	39	69	31	15	9	31	16	39	25	9	10
%	(39)	(69)	(31)	(15)	(9)	(31)	(16)	(39)	(25)	(9)	(10)
肢体不自由	45	212	163	51	27	94	31	48	67	24	11
%	(15.3)	(71.9)	(55.3)	(17.3)	(9.2)	(31.9)	(10.5)	(16.3)	(22.7)	(8.1)	(3.7)
知的障害	101	430	442	128	71	213	95	145	156	63	18
%	(15.2)	(64.9)	(66.7)	(19.3)	(10.7)	(32.1)	(14.3)	(21.9)	(23.5)	(9.5)	(2.7)
病弱	23	81	76	22	17	63	15	27	31	12	6
%	(16.9)	(59.6)	(55.9)	(16.2)	(12.5)	(46.3)	(11)	(19.9)	(22.8)	(8.8)	(4.4)
合計	226	858	733	231	130	416	164	275	302	111	48
%	(6.5)	(24.6)	(21.0)	(6.6)	(3.7)	(11.9)	(4.7)	(7.9)	(8.6)	(3.2)	(1.4)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



どの障害種別でも「学習指導の方法」が最も多く選ばれている。
肢体不自由、知的障害、病弱は「行動の改善」が次ぐ結果となっている。

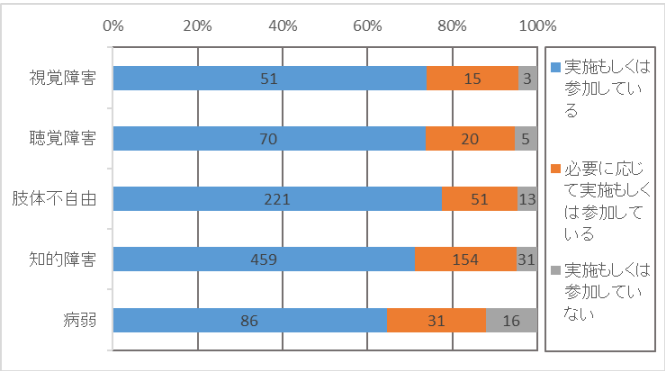
【101】 関係機関と地域の特別支援教育を推進するための連絡会議を実施もしくは参加していますか《単一選択》

	実施もしくは参加している	必要に応じて実施もしくは参加している	実施もしくは参加していない
合計	667	228	59
%	(69.9)	(23.9)	(6.2)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	51	15	3
%	(73.9)	(21.7)	(4.3)
聴覚障害	70	20	5
%	(73.7)	(21.1)	(5.3)
肢体不自由	221	51	13
%	(77.5)	(17.9)	(4.6)
知的障害	459	154	31
%	(71.3)	(23.9)	(4.8)
病弱	86	31	16
%	(64.7)	(23.3)	(12)
合計	887	271	68
%	(72.3)	(22.1)	(5.5)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



【102】 特別支援学校間で連携している学校の連携種別（連携している学校種）についてお答えください。

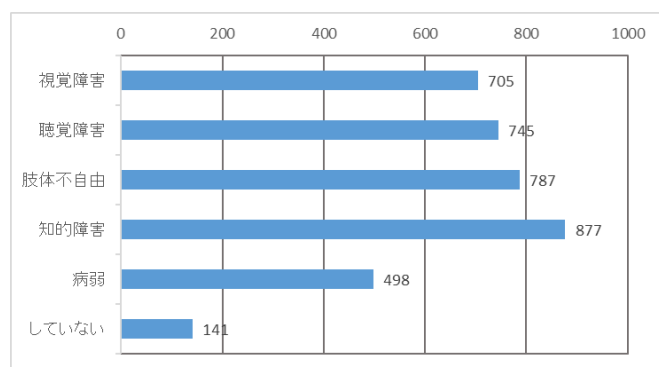
《複数選択可》

	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	知的障害	病弱	していない
合計	512	543	611	695	361	111
%	(50.6)	(53.7)	(60.4)	(68.7)	(35.7)	(11)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	50	54	58	62	36	1
%	(64.9)	(70.1)	(75.3)	(80.5)	(46.8)	(1.3)
聴覚障害	69	67	67	77	40	4
%	(67.6)	(65.7)	(65.7)	(75.5)	(39.2)	(3.9)
肢体不自由	180	191	191	197	127	31
%	(59)	(62.6)	(62.6)	(64.6)	(41.6)	(10.2)
知的障害	329	354	375	444	219	93
%	(48.5)	(52.2)	(55.3)	(65.5)	(32.3)	(13.7)
病弱	77	79	96	97	76	12
%	(52.7)	(54.1)	(65.8)	(66.4)	(52.1)	(8.2)
合計	705	745	787	877	498	141
%	(18.8)	(19.9)	(21.0)	(23.4)	(13.3)	(3.8)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



連携先の種別での片寄りは見られないが、全体の1割程度の学校が「連携していない」と回答した。

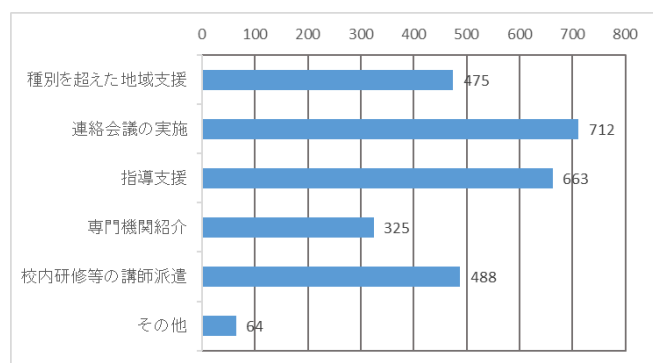
【103】 特別支援学校間での連携により行っている支援の内容についてお答えください。《複数選択可》

	種別を超えた地域支援	連絡会議の実施	指導支援	専門機関紹介	校内研修等の講師派遣	その他
合計	354	542	508	235	371	51
%	(39.6)	(60.6)	(56.8)	(26.3)	(41.5)	(5.7)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	35	44	58	33	45	4
%	(47.3)	(59.5)	(78.4)	(44.6)	(60.8)	(5.4)
聴覚障害	47	57	62	35	52	4
%	(48.5)	(58.8)	(63.9)	(36.1)	(53.6)	(4.1)
肢体不自由	123	173	156	74	115	17
%	(45.2)	(63.6)	(57.4)	(27.2)	(42.3)	(6.3)
知的障害	215	361	314	148	222	29
%	(36.9)	(61.9)	(53.9)	(25.4)	(38.1)	(5)
病弱	55	77	73	35	54	10
%	(41)	(57.5)	(54.5)	(26.1)	(40.3)	(7.5)
合計	475	712	663	325	488	64
%	(17.4)	(26.1)	(24.3)	(11.9)	(17.9)	(2.3)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■その他内容

合同研修会の実施／事例の交流、情報共有／情報提供・情報交換／学校運営関係（給食業務）／就学支援（学びの場の検討）／進路先の情報提供／就学・進学に係る相談／進路相談／本校は中学部までの学校なので、卒業後の進路支援のための特別支援学校、高等特別支援学校との連携。／就学及び進路選択について／入院時の訪問指導／ボランティア養成講座の開催／就学に関わる教育相談／生徒指導に係る情報共有等／就労支援連携協議会／就学・転学／聴力測定／交流会等の企画運営、進路情報／医療的ケア等について／児童の交流／支援が成果を収め、信頼関係が深まった／ブロック研修会の実施／教材・教具の借用・貸出／高等部入学の連携／保護者支援／専門家等の派遣／合同研修会の開催／進学相談／進学相談、情報交換／研修プログラム開発／チームによる小中学校支援／研修会の開催／コーディネーター研修会の実施／特支校間での連携した取組がない／情報交換／各学校の相談支援状況の情報交換等／授業研究／それぞれの学校の研修会の相互公開／相談会の共同開催／アセスメント（視機能評価）支援／実態把握の仕方（アセスメント）／補聴器の使用に係る相談／検査の実施／特別支援教育（専門性）に関する研修開催／就学相談会の実施／学校見学／重複障がいがある児童生徒の教育相談／専門職の派遣／職員研修会の相互参加／就労支援／情報交換、他県学校の研修会参加／合同研修会／学校間での研修の案内、参加／指導力向上研修／公開研修会

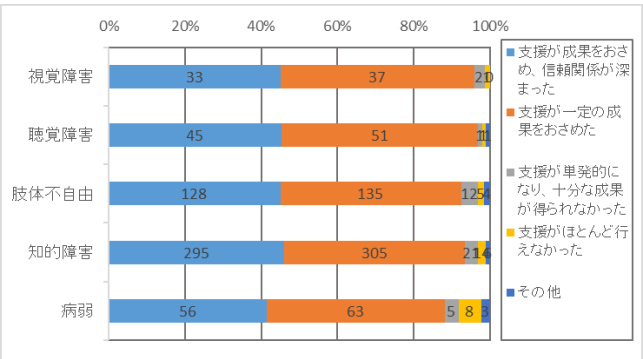
【104】 特別支援教育コーディネーターの活用による地域との支援連携の成果についてお答えください。《 単一選択 》

	支援が成果をおさめ、信頼関係が深まった	支援が一定の成果をおさめた	支援が単発的になり、十分な成果が得られなかった	支援がほとんど行えなかった	その他
合計	413	470	33	26	12
%	(43.3)	(49.3)	(3.5)	(2.7)	(1.3)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	33	37	2	1	0
%	(45.2)	(50.7)	(2.7)	(1.4)	(0)
聴覚障害	45	51	1	1	1
%	(45.5)	(51.5)	(1)	(1)	(1)
肢体不自由	128	135	12	5	4
%	(45.1)	(47.5)	(4.2)	(1.8)	(1.4)
知的障害	295	305	21	14	6
%	(46)	(47.6)	(3.3)	(2.2)	(0.9)
病弱	56	63	5	8	3
%	(41.5)	(46.7)	(3.7)	(5.9)	(2.2)
合計	557	591	41	29	14
%	(45.2)	(48.0)	(3.3)	(2.4)	(1.1)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■ その他内容

単発的な支援になるケースもあるが、全体的には連携が深まっている。／地域との連携支援を行ってはいない／地域の高等学校・中学校の特別支援コーディネータを集め、中高連携のワークショップを開き一定の成果を収めた。／支援が成果をおさめ、信頼関係が深まった／特別支援教育への理解の深まり／一定の成果を収めたケースと単発的で十分でないケースもあった。／県立支援学校とその他障害に関する連携、通常学校へ専門家と同行し相談支援を行えた。／病院のソーシャルワーカーが対応／顔の見える関係から始まるネットワークの構築と支援の厚み／継続的な支援により保護者との信頼関係が深まり、就学につながった／一定の成果をおさめたケースもあるが、単発的になり十分な成果が得られなかったケースもある。／稲荷山養護学校本校のみで実施／地域としては成果があるが、本校としてはなかった／支援が一定の成果をおさめた／地域には派遣していない／情報収集、支援の方向性の統一／相談に来られるようになった／支援は行ったものの要請校が課題等の解決につながったか不明なところもある。／学校から遠方の地域の支援のためサテライトを設置し、対応できている。

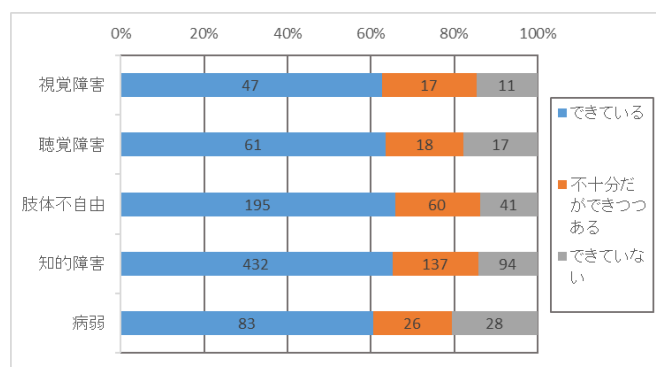
【105】地域内の特別支援教育センター等との連携ができていますか。《単一選択》

	できている	不十分だが できつつあ る	できていな い
合計	620	207	158
%	(62.9)	(21)	(16)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	47	17	11
%	(62.7)	(22.7)	(14.7)
聴覚障害	61	18	17
%	(63.5)	(18.8)	(17.7)
肢体不自由	195	60	41
%	(65.9)	(20.3)	(13.9)
知的障害	432	137	94
%	(65.2)	(20.7)	(14.2)
病弱	83	26	28
%	(60.6)	(19)	(20.4)
合計	818	258	191
%	(64.6)	(20.4)	(15.1)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



どの障害種別も「できている」と回答した校数が過半数を下回っているものはない。

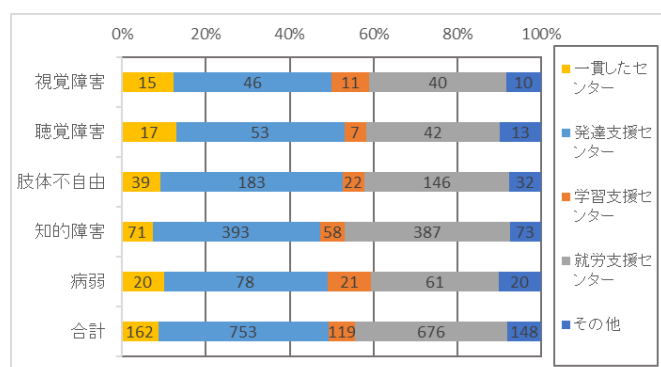
【106】連携しているまたは連携ができつつある特別支援教育センター等をお答えください。《複数選択可》

	一貫した (乳幼児から就労支援 まで)セン ター	発達支援セ ンター	学習支援セ ンター	就労支援セ ンター	その他
合計	121	570	92	504	117
%	(13.9)	(65.5)	(10.6)	(57.9)	(13.4)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	15	46	11	40	10
%	(22.4)	(68.7)	(16.4)	(59.7)	(14.9)
聴覚障害	17	53	7	42	13
%	(20)	(62.4)	(8.2)	(49.4)	(15.3)
肢体不自由	39	183	22	146	32
%	(15)	(70.4)	(8.5)	(56.2)	(12.3)
知的障害	71	393	58	387	73
%	(11.9)	(66.1)	(9.7)	(65)	(12.3)
病弱	20	78	21	61	20
%	(16.4)	(63.9)	(17.2)	(50)	(16.4)
合計	162	753	119	676	148
%	(8.7)	(40.5)	(6.4)	(36.4)	(8.0)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■その他内容

豊田市青少年相談センター／児童相談センター／医療福祉センター／京都府スーパーサポートセンター／乳幼児期の療育センター／教育センター（研修及び指導支援の研究）／子ども相談センター障がい担当等（児童相談所）／聴覚障害情報センター、障害者職業訓練センター、こども健康センター／障害者地域生活支援センター／教育支援センター／鳥取県視覚障がい支援センター／西部地区特別支援教育連絡会／教育センター／おかやま法務少年支援センター／特別支援教育推進センター 障害者地域活動支援センター／地域にない／特別支援教育センター／宇部特別支援教育センター／視覚障害教育センター、聴覚障害教育センター／県立総合教育センター／市町村教育研究所，市町村保育担当部会，県立総合教育センター／該当施設なし／障がい者基幹相談支援センター／ひのみね総合療育センター、徳島赤十字乳児院，発達障害者総合支援センター／聴覚障害者福祉センター／市の教育センター／香川県教育センター、子ども女性相談センター／視聴覚福祉センター／療育福祉センター／教育委員会が置く教育センター・教育研究所／幼児教育研究所／療育セ

ンター／特別支援教育相談センター／特別支援教育相談センター、こども総合センター、発達障害者支援センター／該当するセンターがない／大分市教育センター／市町村の適応指導教室／県立こども療育センター／保健センター／県総合教育センター／こども総合療育センター／県立総合教育センター 特別支援教育班

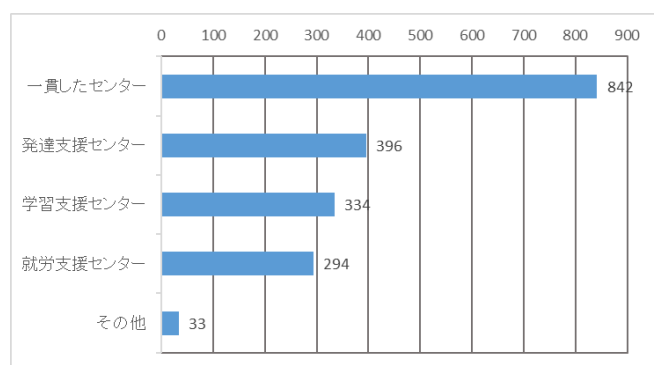
【107】 特別支援教育センターとして設置を希望するものをお答えください。《複数選択可》

	一貫した (乳幼児から就労支援 まで)セン ター	発達支援セ ンター	学習支援セ ンター	就労支援セ ンター	その他
合計	643	305	251	224	27
%	(71.4)	(33.9)	(27.9)	(24.9)	(3)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	58	20	25	15	1
%	(82.9)	(28.6)	(35.7)	(21.4)	(1.4)
聴覚障害	65	33	29	14	1
%	(73)	(37.1)	(32.6)	(15.7)	(1.1)
肢体不自由	209	90	70	72	8
%	(76.6)	(33)	(25.6)	(26.4)	(2.9)
知的障害	429	210	166	162	19
%	(70)	(34.3)	(27.1)	(26.4)	(3.1)
病弱	81	43	44	31	4
%	(63.8)	(33.9)	(34.6)	(24.4)	(3.1)
合計	842	396	334	294	33
%	(44.3)	(20.9)	(17.6)	(15.5)	(1.7)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■ その他内容

高等部段階の不登校対応「適応指導教室」／各種センターが既に設置されている。／保護者支援を請け負うセンター／設置を希望しない／設置しても対象がない／発達障害の相談や支援に対応するセンターとして既に設置されている。／家庭支援センター・子育て支援センター／生活支援センター／就労後も生涯学習として利用できるセンター／15歳以上に相談対象を広げること。／現状でよい／特別支援教育センターの設置を希望／特別支援教育センター／家庭生活支援センター／LDセンター／不登校児の支援機関／家庭支援／新たに設置するのではなく、今あるものの整備・充実を図ってほしい。／視覚障害の発達支援センター／現時点での希望はない。／療育センター／発達支援センターが不足している／発達障害を有する不登校児童生徒の対応センター

【108】地域の自治会、青少年委員会、保護司会、体育協会等との連携がありましたら、その状況についてお答えください。

■具体的に

学校評議員の委嘱／清掃などのボランティア活動の実施、自治会長の学校評議員会への参加／自治体と協力し、地域の美化緑化活動に取り組んでいる／町内会と夏祭り等の行事を連携して開催／地域小中学校との3校連携（地域生活委員会では、青少年委員会、保護司、児童民生委員等と連携）、学校評議員として町会長／まちづくりセンター／市の生涯学習機関との連携をとおして、自治会その他とのつながりがある程度／町内会、／町内会の会館等の作業学習で利用／地域向けの学校見学会を実施している。町内の民生委員児童委員が年1回見学に来ている。／自治会の会議に参加・・・町内会行事、地域振興策への協力／学校周辺の公園花壇の整備、資源回収／各種会議・行事の開催、自治会の花壇の造成／町の社会福祉協議会と連携した除雪ボランティア／障がい者支援ネットワーク重症心身障害児部会障がい者支援ネットワーク就労支援部会自立圏共生ビジョン懇談会医療福祉圏域連携推進会議難病対策会議／地域団体(ライオンズクラブ)より、寄宿舍行事への支援を受けている／地域の青少年育成委員会と連携し、研修会への講師派遣等を行った。／外部講師による出前授業／自治会活動への協力（花壇整備等）／学校運営協議会の設置に伴い、地域の幅広い関係機関と連携している。／地区活性化推進委員会地区青少年育成委員会／町内会に学校祭の案内などを配布している。／自治会主催の行事に参加、市主催の体育的行事等に運営補助・参加／地域の町内会と合同避難訓練を実施地区青少年連絡協議会に参加し、情報を共有している／地域の自治会との奉仕活動／八戸市柏崎地区青少年生活指導協議会／地域の自治会や小中、高等学校において定期的に生徒指導に関わる連携会議を実施し、様々な情報を共有している。／地域の町内会の人々とのスポーツ交流／地区体育振興会主催のマラソン大会へ児童生徒の任意参加／コミュニティ・スクールだよりの地域への配布、地域のウォーキング協会との連携／町内会の施設借用、公園清掃、交流会大学、介護施設の施設借用高等学校の施設借用障害者スポーツ団体への施設の貸出／鮫地区青少年生活指導協議会／町内会行事への生徒派遣／自治会長の学校評議員への参加／地域の防災組織との連携／学校行事や避難訓練への参画、青少年委員や民生児童委員との定期的な情報共有／民区長と連携し、在籍する児童生徒に係る支援の地域からの協力をいただいている。／民区長と連携し、在籍する児童生徒に係る支援に地域からの協力をいただいている。／・地域の自治会の方を学校評議員として委嘱・在学青少年指導員および学校教育アドバイザーと連携し、学校訪問と情報交換を行っている。／学校が設置されている地域住民向けの学校見学会を実施／障害者スポーツ協会等／肢体不自由児協会／学校評議委員会との連携／高等部の生徒が、地域の住民と一緒に、花植活動を実施している。／地域の自治会と連携し、地域行事への参加。／地域の自治会の学校警察連携協議会に参加／学校所在地の自治会との定期的な交流／寄宿舍が属する地域の自治会と防災やスポーツ交流を行っている／学校行事の際に自治会長さんや民生委員さん方等へ案内を差し上げ、おいでいただいている。／地域の要保護児童生徒の連絡会議／近隣の小中学区校区内の連合町内会主催の福祉祭りへの参加／保護観察の生徒が在籍していたので地域の保護司との連携あり／要保護児童対策地域協議会／学校施設開放に伴う各団体との連携、近隣の小中学区校区内の町内会等主催の福祉等イベントへの参加（職員のみ）／学校行事への参加。必要に応じた情報共有。／地域の自治会、民生委員会、体育協会／町内会や関係会館との連携／学校行事等への参加等を通して、交流及び理解啓発の機会としている。／町内会との交流／県身体障害者福祉協会等との連携／学校警察連絡協議会要保護児童対策地域協議会／障がい者スポーツ協会を招いてスポーツ交流を行っている。地元地区の会長と

連携し、冬の除雪作業を行っている。／防災訓練への参加、夜間パトロールへの参加地域の祭りへの参加／体育協会と障がい者スポーツ指導での連携／管理職が地域の自治会の理事・評議員。②地域のコミュニティセンターへの清掃ボランティアの実施。／地域の民生児童委員との連携／諸行事への参加／学校会報の回覧、お知らせの回覧など／地域の自治会とも連携し、学校の理解啓発を進めている。また、体育協会と連携し行事の運営を行っている。／現在は特にないが、今後は民生委員との連携を図りたい。／地域の自治会／町内会、学習センター、プロスポーツチーム／自治会との連携で老人会と共同作業／地域の祭典参加／地域の自治会へ学校公開等のポスターを配付している。また地域の市民センターと作品交流を行っている。／婦人会・青年会議所・社会福祉協議会と花いっぱい活動を実施している。障害者スポーツ大会で指導員・審判として協力している。／地域の自治会地域の環境美化、自治会行事における施設や駐車場の提供、生徒会選挙の立ち合い、学校行事や研修会への参加等。民生委員とは、児童生徒の情報交換。体育協会とはスポーツ吹き矢の講習等。／学校評議員、防災会議委員として連携／学校評議員として連携／地域の自治会のメンバーが学校行事に参加／地域交流として福祉事業所、地区会、奉仕団体／自治会との地域交流／地域の団体との交流／牛久市の地区会主催の「ふれあい祭り」に本校の作業製品等を展示／女性協会からの相談、研修依頼に応えたことがある。／大子町の自治会(町内会)が学校祭に飲食店出店で協力。大子町の青少年相談員が学校見学で来校。／地域の自治会との行事参加や、清掃活動／近隣の自治会長には本校の防災委員会委員を委嘱している。／地区町内会行事への参加(音楽部発表参加)地区公民館の活用(生徒会選挙等での利用)／地域の文化祭でマッサージによる啓蒙活動／学校近隣の公園等の清掃活動に合わせて、啓発のために学校便りを配布している。／自治会長に学校評議員を委嘱している。また、地域の農家の女性団体と交流活動を行っている。／地域の公民館との活動、社会福祉協議会や生き生きクラブ、ダンスクラブとの交流、民生委員の方々の学校見学／地域自治会とは地域連携教員が。青少年委員会とは児童生徒指導主任が。体育協会とは保健体育科教員がそれぞれ連携している。／・お囃子会による本校児童生徒のための和太鼓講習会・地域住民による学校支援等ボランティア／学校周辺の自治会に行事の案内を配布し協力を得られるようにしている。町の自治会長会議や民生委員の会議にて、本校の説明を行っている。／地域の自治会に学校だよりや本校主催のボランティアスクールの案内を配布し、本校に対する地域の理解を深めている。／近隣自治会の公民館をお借りして、学習として清掃させていただいている。また、近隣自治会の方々には、運動会前清掃、花壇への花植え、喫茶のお客役などに来校していただいている。／地域の文化祭等への作品出展／地区連合自治会、地域コミュニティー協議会の定例会合での情報交換／寄宿舎の避難訓練を自治会長や組長に見ていただき、いざというときの協力をお願いしている。／自治会との花植えでの交流、地域の自主防災会による本校避難訓練の参観／自治会がボランティアを募り、教育活動の支援に参加してくれています。／地域の自治会との連携は計画している。／公民館での作品展示、更生女性部によるすいとん作り、各種学校行事への参加、招待等／・地域自治会の作品展に生徒の作品を出品している。／区長会、民生委員会との連携／学校見学の受け入れ、自治会代表を学校評議員に任命／地域の自治会との連携がある。／地域の自立支援協議会、要保護児童対策地域協議会、青少年健全育成団体 等／東吾妻町食生活改善推進協議会との連携により郷土食の調理実習の授業を行っている。／地域の文化祭に児童生徒の作品を展示したり、PTA活動を紹介したりしている。／中学部の地域行事への参加本校運動会への地域の方々の招待／区長さんと民生児童委員に学校評議員をお願いしている。／自治会…地域活動への参加協力、体協…地域スポーツレクへの参加協力／自治会の文化祭に児童生徒作品の出品を行い間接的に交流をしている。総合学習の講師を依頼し、直接的な交流を行っている。／自治会：学校や寄宿舎の情報提供、式典への招待 民生委員との情報交換／地域の自治体と、防災について話し合った。／学校行事の案内。地域行事への参加／秩父地域自立支援協議会の

「そだてる部会」にコーディネーターが、「はたらく部会」に進路指導部が参加している。／地域の公民館との文化祭イベント共催／自治会運動会への協力／地域の自治会に毎年学校だよりを配布している。地域の夏祭りや餅つき会に物品を貸し出している。／学校運営委員会のメンバーに自治会長が入っている。市内一斉清掃に高等部生徒が参加している。所在地体育協会がクロスカントリー大会に本校児童生徒を招待している。／文化祭やPTA主催のお祭り等で、来校していただき特別支援教育の理解の場としている。／市主催の「いじめ問題対策委員会」や「自立支援協議会」での連携／地域の自治会長に学校評価懇話会の委員を依頼している／自治会：ボランティア養成講座、行事のお知らせ／自治会／地域の行事等への参加のお誘い／自治会長が「開かれた学校づくり」の委員。ミニ集会や学校行事への参加。地域夏祭り等への招待。市のボランティアセンター会員による寄宿舍除草作業。／・開かれた学校づくり委員会の委員の委嘱（自治会）

・地域の防災組織委員会への参加／

地域の青少年委員会の役員（理事）として、地域行事等に参加している。／地域の自治会と防災について連携／学校のある町の祭礼に参加している。／地域の自治会とお祭り、文化祭を通じての交流／地域の自治会と防災や行事にかかわって連携している。／開かれた学校づくり委員会／地域の防災、防犯会議への参加／地区の自治会やコミュニティ／地域の社会福祉協議会に特別支援教育コーディネーターが参加している。／要保護児童対策地域協議会に参加することで連携を図っている。／本校の設置されている地区の自治会／学校がある地区の自治会等に参加をしている。／運動会・入学式・卒業式・学習発表会などに参加していただき、子どもたちの成長を見守り教育活動の評価や意見をいただいている。／町内会へのラジオ体操会場提供／地元町内会には日常的にお世話になっている。／ライオンズクラブと連携しあきまつりを開催東京都障害者スポーツ協会と連携し事業紹介や授業支援／民生・児童委員を「学校いじめサポートチーム」の構成員として委嘱している／学校運営連絡協議会の委員として、自治会の代表者を委嘱している。／もちつき会 夏祭り 総合防災訓練／学校運営連絡協議会、防災教育推進委員会等、地域の意見を学校運営に生かせるよう、地域の自治会と連携している。／小平市地区連絡協議会、小平市の小・中学校、民生委員の方、子ども家庭支援センターの方など育成の関係機関の方々が来校する。／学校だより等の配布行事への参観、防災会議への参加／地域の方には、学校運営連絡協議会に参加してもらい、学校評価にも参加していただいている。学校行事等についても案内をし、良好な関係にある。／地域ネットワーク連絡会議 構成員としての連携／町内会との防災連携、青少年委員会の主催する行事への協力／防災教育推進に関して地域自治会と連携／学校運営連絡協議会委員として招聘／学校運営連絡協議会委員として招聘。地域の商店街と連携し、行事のお手伝いを積極的に行っている。／地域の避難所になっているが、現状であまり連携がとれていない／地域の町内会会長に学校運営連絡協議会の委員になってもらっている。／自治会との交流学习／地域自治会と近隣幼稚園と学校運営連絡協議会の協議委員として招聘。／青少年委員会が主催する子供向けのイベントに教員を派遣／健全育成委員会／自治会役員が学運協委員になり継続的に連携青少年委員会等には校長や委員としてかかわっている。保護司による学校訪問受け入れ・／防災訓練での協力／自治会長を学校運営協議会の委員にしている／地域にある小学校・中学校・高等学校、町会の方で構成されている団体に招聘され研修会講師を務めている。／地域の自治会主催のお祭りに文化部が参加している。／地域の防災ネットワークに参加／地域の自治会、老人会、青少年委員会、スポーツ協会 他／清掃活動、防災教育推進委員、学校運営連絡協議会委員／地域の自治会の方々には、登下校の見守り等や日頃の教育活動（行事や地域貢献活動への参加等）に御協力いただいている。／青少年委員会との連携があり、地域の防犯・防災対策に取り組んでいる。／青少年委員と連携した地域行事への参加、地域自治会の学校行事への参加、地域自治会主催行事の参加／地域の自治会の防災訓練に参加／地域の子供会育成会との情報共有、町会との情報共有と広報への協

力要請、民生委員の研修受入／非常災害時における地域自治会との協力／学校として地域行事へ協力している／地域の協議会と連携している。／専攻科の校内臨床への協力管理職による各会合への参加／体育大会の開催にあたっての協力（体育協）／地域の小中学校と共に年2回、学校休業期間の過ごし方の会議で自治会の方に本校の様子を伝えている。／地域交流のイベントでの連携／地域の自治会での会議や行事に管理職が参加。ポッチャ競技協会指導員の派遣。／高等部生徒の登下校の見守り、防災対策、街づくり会議への参加／地域とは、福祉まつりや交流フェスティバル等の行事に参加している。保護司とは、生徒の情報共有やカンファレンス等で連携している。／地域の自治会が合同で行っている体育祭やお祭りに和太鼓同好会が発表させていただいたり、児童生徒が個人参加させていただいたりしている。／コミュニティースクール、地域行事への作品出展、回覧板による広報活動、地区青少年育成会会議への参加、市町村障害者協議会への参加等／自治会への本校イベントのお知らせ、学警連の連絡協議会への参加、地域のお祭りの参加／運動会や学校祭などの行事の時にボランティアとして協力。区内の障害児余暇支援事業でも保護者となりがもてるように福祉機関と連携。／自治会、運動会役員、フリーマーケットに出席／自治会：学校教育推進会議

体協：（市の取り組みとして）障害者スポーツ振興／年に一度、中学校の生徒指導担当者と保護司の連絡協議会を開き、情報交換を行っている。／家庭・地域・学校連携事業／近隣農家や自治会、福祉村、施設等と連携し、地域の中で児童生徒が学ぶ場を授業の中で多く設定している。／地域の方にも参加していただける研修会や体験会、公開講座を開催している／コーディネーターはしていない。保護司会とはぜひ連携したい。／地域の社協理事会、自治会理事会に行事のご案内等のある時に参加させていただいている。／地域の自治会と連携して、ボランティアの派遣をお願いしている／自治会の行事への参加（作品展、敬老の日など）、登下校や行事へのボランティアを通して、児童生徒への関わりが深まった。／地域の自治会と共催で防災体験学習を実施している。／協働した防災教育の推進／バザーへの出店やお手伝い地域の祭り絵の参加／・学校運営協議会への参画・地域イベントへの参加・コミュニティハウスとの連携／地域の青少年育成部会と学校施設を利用した間接的な交流（七夕）。地域の自治会の方と小中学校合同での連絡会。学校公開や行事での地域の人へのご招待。地域から学校評議員の選出。／市福祉協議会。本校の校舎内で定期的にサロンを開き交流。また、他の場所で開かれるサロンに本校生徒が参加することもある。／町内会、地域活動グループ等／自治会、民生委員の方へ行事案内、合同避難訓練の実施など／地域の町内会と中学部生徒との交流が続いている。／地区青少年健全育成委員会に校長が参加し、子どもの状況を報告するなど、情報交換をする。／自治会、保護司会、民生委員、家庭相談員（福祉部局）など／体育協会から、スキー授業のボランティア参加を得ている／・周年行事に自治会長等に参加してもらった。・自治会の代表に学校評議員をお願いしている。／学校行事等を案内し参加いただいている。／自治会等の会合に、定期的に参加している／商工会、青年会議所、食育団体、ボランティア団体など、多岐にわたる連携を推進している。／地域自治会から人的・金銭的支援がある。／スポーツ協会から職員を派遣してもらい、授業で指導してもらうことがある。／NPO法人ネージュスポーツクラブによる指導者の派遣及び学校行事への実施協力／合同避難訓練の実施／地域の町内会との連携／地域の自治会や地域の社会福祉協議会／地域の自治会と交流会や防災訓練を合同でおこなっている。／地域の自治会とは、防災に関して緊急時の受け入れ等について、定期的に話し合いを行っている。／自治会と交流および共同学習を行っている／自治会に学校行事の案内を配付し、少人数ではあるが、参観者がいる。／地域の自治会と交流及び共同学習を実施している／・地域の清掃活動や季節行事への参加

加 ・地区の社会福祉協議会会長、民生児童委員が交流及び共同学習推進協議会の委員に就任

／地域の自治会との連携 学校評議員を依頼／地域の自治会役員を学校評議員に任命／ののいちっ子を育てる支援会議／管内の不登校、引きこもりネットワーク会議及び発達障害地域関係者会議／学校近隣の自治会

等に学校行事の案内を配布。県の障害者スポーツ協会との連携（講師派遣等）／近隣自治会の子供会を文化祭の午後に行うゲームコーナーに招待して交流している。／地域の自治会、近隣企業との合同清掃、公民館活動への参加／地域の自治会に災害時の支援を依頼している。／近隣自治会の学校行事への参加／地域の自治会長に学校評議員になっていただき、災害等についての地域の情報をいただいている。／地域自治会とのボランティア活動、地域からのボランティアの受入／地域の自治会に運動会や学習発表会の招待状を出している。また、自治会副会長に、学校評議員を受けてもらっている。／地域の自治会が主催する文化祭に作品を出展、自治会長に学校評議員を依頼／民生委員・児童委員との交流／地域ボランティア清掃、ウォーキング等の活動を地域の自治会と行っている／住民自治協議会との連携／地域の方、消防署、自警団の方に参加していただいている寄宿舎夜間の避難訓練の実施。学校評議員会への参画、登下校時の見守りなど／地域の自治会と連携し授業への協力をいただいている。／地域の区長さんが学校評議員。民生児童委員さんの学校見学対応。／自治会から学校評議員として参加してもらい、学校運営全般について意見をいただいている。／地域支援ボランティアと連携している／地域の自治会との交流等における連携／地域民生児童委員の方との連携（学校見学含む）／・寄宿舎の避難訓練に地域の自治会に参加いただいている。・障害者バスケットチームへの施設の開放及び、合同練習等の実施／地域の自治会の方による、学校行事へのボランティア協力／地域自治会主催のイベントに参加・地域自治会からの物品寄贈／老人クラブや地域の小中学校のPTA等と交流学习を通して障がい児者の理解啓発を行っている。／学校評議員会への参加 ボランティア等／地域の放課後児童クラブの指導員や育成会の担当者に向けた研修の講師を行った。／民生委員会が研修の一環で本校を活用／保護司会の方の訪問による、講話等がある。／地域の青年部OB組織と夏祭りや餅つき交流会を実施している。／学校だよりを地域で回覧していただいて理解を深めたり、学校評議員として学校運営へのご意見をいただいたりしている。／・学校として地域行事へ参加 ・避難訓練に防災士が参加／地域の行事等への協力、学校祭での地域の方の作品展示等地域とのつながりを大切にしている。／地域の自治会と連携した行事等に取り組んでいる／地域防災について地域の自治会と連携している／地域の自治会に、文化祭、運動会等の案内。民生委員に理解啓発。生徒指導連絡会に参加。／地域防災連絡会議／自治会は開校以来連携、協力を深めている。生徒指導に関連して青少年委員会と連携。体育協会との連携、協力は大会運営などで。／地域のシニアクラブの方々や自然を守る団体と一緒に活動したり、地域の自治会と防災対策面で協力し合ったりしている。／自治会を交えた防災連絡会の実施／地域自治体に学校だより等を配布・回覧／自治会とは防災面での協力および地域における作業学習の教材提供等で連携している／地域の公民館や公園の清掃活動、田植えや稲刈りなどの地域行事への参加／・地域の自治会の本校行事への参加。・小学部3年生の居住地域の民生委員が運動会に参加。／民生委員の研修の場として提供。（特別支援教育についての講話や授業見学）／障害者スポーツ7協会、障害福祉課等の障害者スポーツの会場として連携／体育協会／自治会代表者との合同清掃自治会も含めた合同防災訓練／地域の自治会の方との交流コミュニティー会議、防災会議への参加／学習の場として公民館の活用をお願いしている。／自治会の協力による防災学習の実施 連合自治会長が学校評議員として教育活動を支援／自治会と防災について／地域の自治会に学校便りの配布、評議委員の依頼、文化祭への参加／地区防災会議（自治会）、学警連、／・体験学習のための地域の田畑の提供と指導・読み聞かせボランティア・学校行事支援ボランティア・校内清掃、花植えボランティア／自治会、地区社会福祉協議会、手をつなぐ育成会、民生員／地域の自治会と避難訓練を実施している。／希望の丘連絡協議会、掛東学園、グラウンドゴルフ、ユニカール、ハンドベル／昨年度、学校（小、中、高、特支）と地域の警察署との連携会議を2回行った。／地域の自治会へ学校の教育活動の様子を学校だより等で発信している。／教頭が窓口で、学校近隣の自治会の区長等と連携。／人権教室／自治会へ学校公開、民生委員に対

して障害者理解の研修会／地域の自立支援協議会等に参加している。／本校防災訓練への地域の方の参加、地域での作業学習物品の販売活動／学校評議員に地域の総代を指名している。学校行事について、総代、民生委員に案内を配付し、地域の方に周知してもらっている。／・地域自治会から1名、学校評議員を依頼し、学校行事等にも参加していただいている。／地域の自治会等へ管理職等が参加、自治会長を学校評議員として迎え学校経営にアドバスをもらう／自治会との情報交換会／所在地の自治会に学校通信の回覧、周辺自治会に学校行事の案内配付／地元老人会との共同作業による庭園管理、自治会関係者のキャリアサポート委員会への参加／行事等で地域自治会や民生委員と連携している。／民生委員の学校訪問学校関係者評価委員会に自治会長が入っている。／地域の住民との間で就労に向けた農業体験／年に一度地域の自治会主催の地域警察と地域の情報共有する会議があり、管理職が出席／校区内の近隣自治会との連携。体育協会とスポーツ関係の行事における連携／地域の自治会には、交流教育に協力していただいている／年2回の販売会／民生委員、社会福祉協議会への障害理解についての研修。／老人クラブとの交流会、防災協議会／青少年育成学区民会議、自治会、民生児童委員／学校行事への参加依頼（広報チラシ等の配布）／社会福祉法人、学習支援事業所／学習等で地域と連携している地域の連絡会に出席している／自治会役員が学校評議員に就任。通年見守ってくださっている／地域協働活動を教育課程の中核に据え、自治会・社会福祉協議会・女性会・地域包括支援センター等との連携した活動を日々行っている／学校だよりの配布、地域行事への参加、地域施設の清掃活動、作業実演及び販売学習／学校運営協議会委員、行事の共催／学校運営協議会メンバーに地域の自治会の代表者がいる。／地域の公民館／学校だより、学校行事などの案内の回覧や参加の依頼、及び各自治会のイベントへの参加・協力／地域の自治体と災害時の対応について連携している／地域自治会による授業支援、避難訓練やPTA主催の秋祭りへの参加、本校教職員向けの体育実技研修の実施、／病棟学園との連携（夏祭り、共催による運動会／地域の自治会の方と交流の機会はありませんが、特に支援の連携はしていません。／地域の婦人会が第2,4木曜に本校の児童生徒会と共同で地域の清掃活動や校内庭園の整備を奉仕くださっている。／・区民会館の室内プールを使用。・近隣の市営住宅に津波災害時に避難するための避難訓練／年1回程度 情報交換、／地域の福祉委員長に学校運営協議会委員を委嘱している。／社会福祉協議会との合同ボランティア活動（赤い羽根募金）／学校運営協議会、関係教育委員会主催の合同会議への参加／学校運営協議会委員の依頼（地域）ボランティアとして授業に参加（地域）／福祉協議会／避難訓練の見学、地域の行事に工程等の提供／近隣自治会、地域社会福祉協議会／地域の祭り等への参加／自治会には学校運営協議会のメンバーに入っていただくとともに年1回の自治会の総会に校長が出席している。／自治会への学校行事案内コミュニティ会議への出席／自治会からの学校見学を受けている／地域の連携協議会に管理職が参加して、情報共有をしている。／地域の自治会長に学校評議員をお願いし、年2回評議委員会に参加していただき意見等をいただいている。／新しい農園のさつまいも栽培・収穫に区長が参加／研修会の受け入れ（民生児童委員等）／近隣のマンションの自治会長に学校評議員を務めてもらっている。／地域の民生委員会への出張講演／発達障害の理解と支援に関する研修会の講師派遣／地域の自治会で生徒が就労体験を行っている。／自治会、ライオンズクラブとの交流／自治会、民生委員との連携地域支援だより／地域の社協と連携し、ボランティア講座や芋掘りなどの交流活動を行っている。／自治会主催の行事に高等部作業学習物品販売／地域の障害者自立支援協議会に参加地域の青少年問題協議会に参加保護司会による学校訪問の受け入れ／地区連合自治会長に学校評議員を委嘱。地域行事へ招待により参加。／授業や実習等における場の提供学校評議員／学校行事、地域行事にお互いに参加。／地域の自治会長が学校評議員として支援いただいている。／保健師研修会を実施し、地域の健診等で、聴覚障害の発見に努めてもらっている。／自治会との交流／本校近隣の自治会、教育協議会、社会福祉協議会、少年指導協議会。民生児童委員、近隣

少年スポーツ諸団体／寄宿舎祭における出店やボランティア参加／地域の自治会長が本校の学校運営協議会委員である／青少年補導センター／公民館との連携（清掃、文化活動）／障がい者スポーツ協会の方に体育の授業に来ていただくことがある。／障がい者スポーツ協会が主催するスポーツ大会の参加及び運営協力／人権擁護委員会による啓発公民館（公民館祭への出品、本校の祭への参加）／地域の自治会の方に学校行事、環境整備活動等に参加いただいている／地域の自治会への行事案内、自治会等行事のボランティア活動への参加、出張カフェや清掃など実習場所の提供、社会福祉協議会でミニコンサート実施、保護司会の学校視察・カフェ利用、総合型地域スポーツクラブとの連携授業など／公民館を通して地域と連携／地域の公民館と連携し、障がい者の交流の場への参加や学校見学を実施した。／地域の公民館と連携し、障害者の交流の場への参加や学校見学を実施した。／作業製品の販売や野菜作りなど日常的に地域住民との交流の機会が自然な形で行えている。結果よい理解啓発の機会となっている。／地域の公民館との連携／避難訓練など地域自治体と協力して行うことがある。／マッサージ体験会、体育会、文化祭、総合防災訓練／学校行事の案内、参加／放課後子ども教室で、新見市スポーツ推進委員協議会の方にニュースポーツの指導に来ていただいている。／地域学区コミュニティの行事に参加／地域コミュニティのメンバーとして会議に参加／まきび地域学校協働本部／社会福祉協議会定例会議に学校代表職員が参加し情報共有及び地域行事に参加している。民生委員、児童委員の研修会に講師を派遣したり、学校見学を受け入れたりしている。／学校運営協議会の委員に、地域の民生委員が入っている。／自治会を通じて本校の教育内容等を広報し、理解啓発を行っている。／学校運営協議会委員として自治会長が就任している。／地域の体育協会から運動部指導に来ていただいている／社会福祉協議会との連携／阿賀学園地域教育連携協議会（アガデミア）の中で自治会と連携し、花壇づくりなど道路の美化活動に取り組んでいる。／自治会と連携し、避難訓練や音楽会などの学校行事を行っている。／学校運営協議会を軸に、地域の有識者や自治会、社会福祉協議会、高専、大学、事業所などと連携している。／環境整備作業への協力、どんど焼き集会への参加、グラウンドゴルフ交流会への参加、敬老会へのビデオレター、地域の文化祭（作品展）への協力等／地域の自治会、社会福祉協議会、観光協会／コミュニティ・スクールの取組として地域の自治会と地域清掃や芋の種植えと収穫、カレーを作って食べよう会を連携、また、公民館祭りへの参加／地域の自治会長が学校運営協議会の委員となっている。地域の自治会に学校の情報（学校行事、授業公開、避難訓練等についての情報）を積極的に提供している。／地区文化祭での児童生徒作品展示／地域の自治会と連携した防災訓練等を検討中／コミュニティ・スクールの取組で、地域の方々に来校していただいている。／コミュニティ・スクールの開始にともない、地域の自治会、老人会等の方々と、清掃や交流会を実施している。／合同防災訓練を実施、自治体の防災訓練に参加民生委員の研修会に参加／地域社会体育団体、民生児童委員の学校行事参加及び視察／地域の自主防災会／町青少年健全育成協議会／地域の自治会のイベントに参加／地域の自治会と連携した防災オリエンテーリングを実施している。／地域の警察や子ども女性相談センター、法務少年支援センター等と連携して生活指導を行う。小松島商工会議所から社会人講師を3名着任。小松島ライオンズクラブと苗栽培等で連携／体育祭、文化祭等の学校行事の公開（案内）障害者スポーツによるスポーツ協会との連携／防災訓練の際に、地域の自治会担当者に指導をお願いしている。／民生委員との交流／香川県障害者スポーツ協会と連携し、協会主催の各種大会への選手派遣や強化選手育成事業に参加している。／運動会で地域の老人会との交流、小学部が地域の民生委員さんと交流、学校評議員に地域の方1名依頼／児童民生委員による行事の参観、地元自治会との交流、花の苗を丸亀市や自治会へ提供／地域の自治会には運動場やタ体育館の施設利用、体育協会には施設利用と行事案内／生徒指導の会、体育協会／校長が地域の青少年対策班の班員、また、青少年委員会、体育協会の会に関係者が参加することがある。市町の特別支援教育推進協議会、自立支援協議会等にも

担当者が参加している。地域の民生委員や保健師などが学校参観に来ることもある。／保護司や青少年委員会、警察との情報交換をしている。／自治会・公民館サークル活動の交流・公民館文化祭への参加／学校行事への参加地域行事への参加／合同避難訓練／地域の自治会より招待があり、参加している／地域の行事への参加／公民館や公園の整備を本校生徒が行う。防災がテーマの生活単元学習に自治会から参加してもらう。／地域に自治会の会合に参加（年に数回）／ほとんどない／学校行事の案内、学校見学の受け入れ等／自治会長に学校評議員を依頼している。／現在特に連携はありません／地域自治体の方が来校して、職業専門の授業を体験する催し。地域のマラソン大会への記念品無償提供／ネットワーク会議に参加し、地域の機関として他の機関との関係作りに努めている。／入学式、卒業式、運動会への招待地域への清掃活動／数多くの団体との連携が毎週のようにある／地域の市民センター（館長が学校評議員）／学校行事への参観／自治会より学校評議員に入ってもらい、意見等をいただいている。／支援会議に入っただくケースがある／学校評議員会の委員として参加してもらい、第3者の視点で意見をいただいている。また、学校から地区の民生・児童委員会に参加している。／地域の老人会と交流学习（高等部）地域の清掃活動（中学部）／地域の小・中学校、自治会、児童委員、警察との懇談会が1～2ヶ月に1回実施されている。／必要に応じて連絡を取ることはあるが、常に連携を取っているような繋がりはない。／地域の自治会役員会に出席して、学校行事の紹介をしたり、合同で大規模災害時の避難所運営研修会を実施したりして連携している。／災害時の避難について自治会と協議を進めている。／地域の老人会、婦人会と交流学习を行っている。／地域の婦人会等と交流している。／支援会議の際に地域の民生委員に参加してもらう場合がある。／本校の学校評議員に地域の自治会長等に入っただき、地域社会の状況について助言をいただいている。／地域の文化的行事への作品展時や老人会との交流活動の実施、本校行事参観など／各地域の民生委員さんに本校の教育活動の様子を参観していただいている。／月に1回、地域の関係者が集まる「例会」がある。／老人福祉協議会等の協力をいただき、交流等を実施した。／学校運営協議会委員(区長)／地域の自治会長が本校学校評議員を担当。当該自治会の広場に本校高等部が花苗を植栽。幼保小連絡会議への参加。／学校行事（学校見学会、運動会、学校祭）への案内、ボランティアとしての参加依頼。／地域の自治体代表に学校運営協議会の委員になっていただき、教育活動へ積極的に協力いただいている。／・自立支援協議会（子ども部会）での福祉機関との連携。・社会福祉協議会のボランティア活動等。・少年保護育成の会との連携（生徒指導）。・防災担当課との連携（子ども福祉避難所開設）。／地域の自治区長には、学校評議員や学校運営協議会の委員として協力いただき、連携している。／本校のコミュニティ・スクールの運営協議会のメンバーに、地域の自治会（婦人会、自主防災会、民生員会、町内会代表）から選出いただいている。／学校運営協議会（総合型）／学校所在地の近隣小中学校区、公民館等を含む地域連携協議会に参加している／地域に開かれた学校づくりの一環として、学校の取組を知ってもらうため学校公開や学習発表会に招いている。／地域振興連絡協議会と団子汁づくりや防災関係等の場面でつながりをもっている。／学校で行われる地域の行事に関する連携／地元自治会と連携して地域合同避難訓練を実施した。／自治会連合の視察 体育協会の支援／青年の主張大会への参加／地域との合同避難訓練／自立支援協議会及び各地域の地域課題検討会への参加／民生委員との連携、家庭支援／民生委員等の研修会での理解啓発後の学校視察研修を受け入れ／地域の小学校区コミュニティ協議会に入り、地域の行事等にも参加している。／地域コミュニティ運営協議会との連携と地域行事への参加／青少年委員会：生活指導について情報共有や支援連携／自治会主催の文化祭の作品展に児童生徒の作品を展示していただいている。／隣接団地の自治会との交流（学校評議員、臨床実習、行事の相互参加等）／浦西中学校区コミュニティー作り推進委員会／災害時の協力体制／・高等部の生徒で問題行動のある生徒での支援の際、保護司と連携していた。／地域の自治会：防犯、防災対策活動への参加、清掃活動へ

の参加／学校評議員に地域の自治会長を選任している。／地域の自治会長を学校評議員として委嘱。また、公民館の花壇作り、学校周辺のクリーンアップ作戦を地域住民に呼びかけ実施。

【109】小・中学校の児童生徒が貴校に登校する形で「通級による指導」を受ける取組を行っていますか。

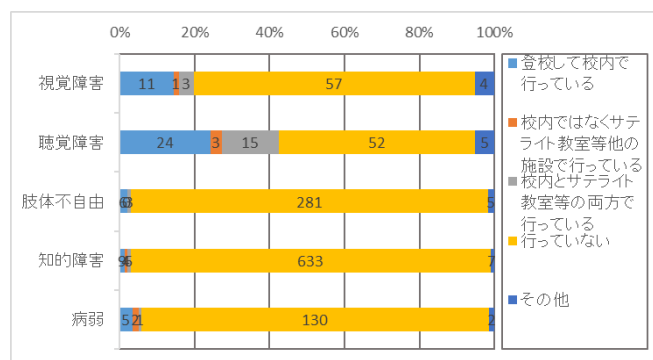
《単一選択》

	登校して校内で行っている	校内ではなくサテライト教室等他の施設で行っている	校内とサテライト教室等の両方で行っている	行っていない	その他
合計	46	8	21	893	18
%	(4.7)	(0.8)	(2.1)	(90.6)	(1.8)

※上記表は各校が選択した項目数を集計しております。

視覚障害	11	1	3	57	4
%	(14.5)	(1.3)	(3.9)	(75)	(5.3)
聴覚障害	24	3	15	52	5
%	(24.2)	(3)	(15.2)	(52.5)	(5.1)
肢体不自由	6	0	3	281	5
%	(2)	(0)	(1)	(95.3)	(1.7)
知的障害	9	4	6	633	7
%	(1.4)	(0.6)	(0.9)	(96.1)	(1.1)
病弱	5	2	1	130	2
%	(3.6)	(1.4)	(0.7)	(92.9)	(1.4)
合計	55	10	28	1153	23
%	(4.3)	(0.8)	(2.2)	(90.9)	(1.8)

※上記表は各校複数の障害種別を選択しており、障害種別毎に選択された項目を集計しております。



■その他内容

【視覚障害】

教育相談として通っている／登校して校内で行っている／本県では視覚障害について「通級における指導」の制度はない。／通級指導教室開設を目指し試行実践を行っている（来校による支援）。／放課後等に定期的に来校してもらい相談支援を行っている。／通級の形態ではないが、月1回など定期的な来校相談を実施

【聴覚障害】

本校への登校と在籍校への巡回／加えて、巡回指導として在籍校で行っている／対象児童生徒の在籍校に向いての支援／本校に来校して指導を受ける形態はあるが、現在はその形態で指導している児童生徒はいない。／聴覚障害に係る教育相談として、定期または不定期に活用するケースがある／登校して校内で実施・遠方については担当が巡回し支援を行っている。／登校して校内で行っている。

【肢体不自由】

教育相談として実施している。／特別支援学校支援籍を取得し、本校の授業を受けている。／「通級」ではなく、教育相談の中で継続指導したケースはあるが、H30はない。／在籍校を巡回する形式で行っている／校内とサテライトと巡回により実施している。／本校の通級担当者が小中学校への巡回による指導を実施／一日入学や体験入学

【知的障害】

特別支援学校支援籍を取得し、本校の授業を受けている。／本県においては支援籍の仕組で「自立活動」を実施／本校の通級担当者が小中学校への巡回による指導を実施／高等部のみの設置／一日入学や体験入学／受け入れ教室を設置しているが、利用実績なし。在籍校へ職員が出向いて実施している。／聴覚障害に係る教育相談として、定期または不定期に活用するケースがある／対象の生徒は在籍していない

【病弱】

「通級」ではなく、教育相談の中で継続指導したケースはあるが、H30はない。／一日入学や体験入学／対象の生徒は在籍していない

さいごに

それぞれの学校で、地域の機関、コーディネーターとの連携が多く行われており、支援の際は比較的どの学校も要請に応じて柔軟な対応をしていることが見て取れた。

また、連携する先や、希望する施設の多さから、要件に応じて対応を柔軟にせざるを得ないことがわかる。